

ご予算や構造体に合わせて断熱工法をご検討頂けます。

グラスウール断熱工法

空気を包み込むグラスウール断熱

ガラスを繊維化し、隙間に大量の空気を封じ込めているグラスウールは、優れた断熱性能を備えています。基本素材がガラスなので、耐熱性が高く、腐食やシロアリにも強いので、快適な室内空間を実現できます。

施工時間効率が高い

他の断熱仕様比べて低コストで、施工時間も短時間で済むため、全体の工期に支障を与えず、効率良い施工でご提供できます。



吹き付け断熱工法

ウレタンフォームを壁面に吹き付ける断熱仕様

柔軟なウレタンフォームを使用するため、隙間無く吹き付けて構造材に接着するので断熱の欠損が少なく、経年変化が少ないので耐久性も高く安定しています。

結露の防止が家を守る

建物内の温度差を抑えられるので結露を防止し、ダニ・カビの発生も抑えるため、建物の耐久性も向上します。



外張り断熱工法

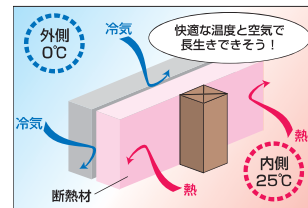
「すっぽり断熱」外張断熱工法の家



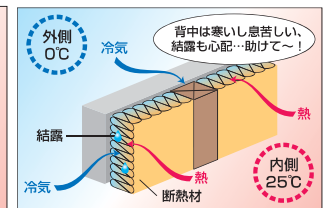
家に優しい耐久性

柱・梁をすっぽり断熱材でつつむため、構造躯体部分での温度差が小さく結露も極めて起きにくくなります。また、柱・梁で木材が直接空気にふれることで、木材の呼吸が促進され、耐久性の向上に寄与します。

●外張り断熱工法



●充填断熱工法



屋内の空間を有効利用

従来の充填断熱で断熱材をいれていた部分を棚や収納として活用できます。また小屋裏空間のすみずみまで利用可能です。



▼柱間利用
外張り工法により、従来デッドスペースだった柱の間を有効に活用できます。



▼小屋裏利用
小屋裏が住空間として有効に活用できます。

安心の耐熱焼性能

炎をあてても“炭化”するだけで、燃え広がりません。もちろん、燃焼時に有毒ガス発生への心配もありません。

※次世代省エネ基準とは、平成11年3月30日に建設省・通商産業省から告示された、「住宅に係わるエネルギーの使用の合理化に関する基準」を言います。